

## 一般質問(要旨)



大足 光司 議員  
国民民主党  
高萩市・北茨城市選出

### 介護人材の確保・育成

議員 介護需要が高まる現在、介護人材の確保・育成は急務である。県の取り組みと今後の方針は。

福祉部長 積極的な広報活動により、特に若年層の介護職への関心を高めるよう取り組む一方、外国人介護人材の安定的な確保のため、人材発掘・育成・就労・定着まで一貫した支援を行っている。また、介護職員への研修機会提供に努め、職員のスキルアップなどを図っている。今後も介護人材の確保・育成に積極的に取り組んでいく。



木本 信太郎 議員  
いばらき自民党  
水戸市・城里町選出

### 市町村合併に向けて県が果たす役割・支援

議員 市町村間において将来を見据えて合併などに向けた議論が行われる場合、県はどのような役割・支援を考えているのか。

知事 市町村や住民が主体となつて合併などに向けた議論を深めることは歓迎すべきものと考えている。県は、人口減少が進む中、社会経済環境の変化を踏まえ、今後、市町村間で合併などに向けた議論が自主的に行われる場合には、水戸市の中核市移行の事例なども参考に、必要な支援を行っていく。

### コミュニティ・スクール※1と地域学校協働活動※2の一体的な推進

議員 県内のコミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的な推進のため、どのように取り組んでいくのか。

### 教育長 コミュニティ・スクール

や地域学校協働活動を進めている現場にて、それぞれの狙いや仕組み、優良事例の紹介など、一体的な推進に必要な、正しい理解促進のための助言・指導を行っており、今後も引き続き取り組んでいく。

(ほかに、県北地域における人づくりの取組、海を活用した観光と周遊観光の推進なども質問)



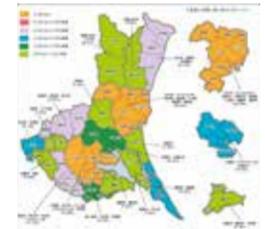
介護職員研修会の様子

### 不登校・いじめ問題に取り組む小中学校へのサポート

議員 不登校やいじめに関し、自治体の財政力により対応に差が出る問題、専門性のある人材がいな問題にどう取り組んでいくのか。

### 教育長 地域差なく、悩みや不安を相談しやすい環境を構築するとともに、専門家との連携により、問題に適切に対応し、全ての児童生徒が充実した学校生活を送ることができるようサポートしていく。

(ほかに、街頭防犯カメラの実績と今後の展開、農業人材の育成に向けた県と民間農業者教育機関との連携なども質問)



平成19年11月当時、茨城県市町村合併推進協議会の答申に盛り込まれた将来目指すべき合併パターン



秋元 勇人 議員  
いばらき自民党  
結城市選出

### 発達障害等のある児童生徒への指導・支援の充実

議員 発達障害等のある児童生徒が将来職業人として活躍できる環境づくりは重要である。児童生徒の指導・支援にどう取り組むのか。

教育長 特別支援学校での3年程度の勤務により、障害のある児童生徒への指導の専門性を高め、各地域の中核を担う教員を育成する「特別支援教育推進交流事業」などを今年度から開始した。これらの取り組みを一層推進し、児童生徒の自立と社会参加を目指し、指導・支援を行っていく。



櫻井 信幸 議員  
茨城無所属の会  
石岡市選出

### 下水汚泥の有効活用

議員 汚泥肥料※3には重金属が含まれており不安があるが、下水汚泥の有効活用はどう取り組むのか。

土木部長 汚泥肥料は、重金属含量が法律に基づく基準値を下回ったものが流通しており、さしまアークアステーションで製造した汚泥肥料については重金属含量を定期的に公表していく方針である。下水汚泥の再資源化が促進されるよう、法令に基づく安全性を確認しながら、肥料化や建設資材化など有効活用を図っていく。

議員 生産する品目について県として戦略を持って推進する必要があると考えるが、今後どのように有機農業を推進していくのか。

農林水産部長 「有機農業と言えば茨城」というポジションの確立を目指し、生産量などで本県を代表する品目や市場性の高い品目をいくつか選定し、重点的に推進するとともに、有機農業に必要な栽培技術を確立し、生産現場への迅速な普及に努める。

(ほかに、霞ヶ浦の水質対策、優秀な教員の確保なども質問)



さしまアークアステーションの汚泥肥料化施設

### ドローン技術の活用による収益性の高い農業の実現に向けた取組

議員 農業用ドローン技術の活用は、農業現場が劇的に変化する起爆剤と考えている。この技術を実現で最大限活用するための支援や規制緩和にどう取り組むのか。

### 農林水産部長 ドローンの効率的な稼働につながる、経営体への集積・集約による圃場の大区画化に取り組みとともに、中央要望などあらゆる機会を捉え、ドローンの規制緩和を国に要望していく。

(ほかに、水道事業の広域連携の進捗と課題への対応、生産性の高い農地の確保なども質問)



農業用ドローンの実演会の様子

## 県議会を傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。県民の皆さまにより選出された県議会議員がどのようなことを審議しているのか、目の前でご覧いただける身近な機会です。ぜひお気軽にお越しください。

なお、本会議の傍聴を希望される方は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できます。

その他、団体での傍聴や常任委員会の傍聴などの詳細については、県議会事務局議事課までお問い合わせください。

(児童や乳幼児をお連れでの傍聴について)

- ・親子席を用意しております。
- ・授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には、部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽にお声掛けください。
- ・県庁内保育所や議事堂近隣の民間保育所での託児サービスも行っております(託児サービスのご利用には、事前申し込みが必要となります)。



本会議場の傍聴席

お問い合わせ先  
(傍聴に関すること)

議会事務局議事課 電話029・301・5634  
※県議会の傍聴の詳細は議会ホームページをご確認ください。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/sanka/boutyout.htm>  
(託児サービスに関すること)  
議会事務局総務課 電話029・301・5613  
※託児サービスの詳細は議会ホームページをご確認ください。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/yakuji/>



## 議会人事

### ◆議員辞職など

9月4日付で星田弘司議員(つくば市選挙区)が辞職されました。

これに伴い、同日付で鈴木将議員が予算特別委員会委員に選任され、同委員会副委員長に指名され、県有施設・県出資団体等調査特別委員会副委員長に指名され、情報委員会委員に選任されました。

10月15日付で中村はやと議員(古河市選挙区)が退職されました。